



2021.11.24

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

芸術の秋:作品展

学年やクラスで決めたテーマに従って展示し、ご家族の皆様にご覧いただいた作品展が無事に終わりました。心より感謝申し上げます。お子様の作品はいかがだったでしょうか。1学期の頃と比べて、その成長は大きなものがあったと思います。各ご家庭から廃品のご協力をいただき、たくさんの材料が集まりました。重ねてお礼申し上げます。

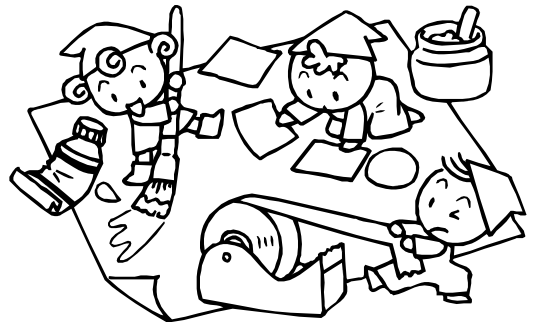
毎日根気よく作品とにらめっこして、少しずつ仕上げていく過程は、「最後まであきらめない」という忍耐力につながります。

ですから子どもたちが興味を持つ作品作りでなければいけません。まず何を作るのか、どんな材料を使うのか、どう進めたら楽しい作品作りが出来るのか、担任は頭を悩ませます。特に個性を引き出す、ということはなかなか容易ではありません。

『学ぶ』という言葉は『まねる』から来ています。誰かがやっていることをまねて行うことがスタートで、絵を描くことも作品を作ることも、先生や友だち、今まで目にしたのもの等、これまでの経験を表現しようとする。幼い頃から本物を見せたり観賞したりすることも、大切な要素となります。『まねる』ことから始まり、次は『自分で考えて』作品作りをする段階に進みます。

子どもたちの作品も個性あふれるものを作ってほしいと、園長として担任に伝えます。『子どもたち目線の作品、遊び心がある作品』にしてほしいのです。『一方的に大人の目線で作品を作らせる』というのではなく、その子の個性があふれ、子ども自らが喜んで作品を完成していくこと、それが作品展の目標です。

きっとお子さんの作品を見ながら、楽しい会話がはずんだことでしょう。頑張ったことをいっぱい褒めてあげて下さいね。誉め言葉をいっぱい聞く方も、その言葉を発する方も笑顔になり、お互いに穏やかで豊かな心が育まれます。芸術の秋、笑顔いっぱいの家族が増えますように。



スポーツの秋:MVP

皆様もニュースでご存知だと思いますが、エンゼルスの大谷翔平選手が、今季のアメリカ最優秀選手 (MVP) に選出されました。日本人としてはイチロー氏に続き二人目です。大リーグで二刀流を見事にやり切って、圧倒的な満票での受賞でした。日本のメディアだけでなく、世界中から注目を集める人物となりました。同じ日本人として誇りに思います。

恵まれた才能、持って生まれた体格、もちろん野球選手としての要素はあったとしても、それを活かすのは本人の努力の賜物以外にありません。失敗から学び、自身で研究し、次の目標を立てて達成できるように努力する。スポーツ選手に必要とされている「心・技・体」が揃っています。大谷選手の人気は、野球選手だけでなく普段の何気ないしぐさや人柄にあります。

私が一番感動したのは、「ごみを拾う」姿です。これは高校時代に監督さんから教わったそうですが、「ごみを拾うと福も拾う」と教えられたそうです。逆に言えば、ポイ捨てしている人は福を捨てている？それから、紙に自分の夢や目標をびっしり書いて達成していくこと。具体的に一つ一つやりたいことを書いて着実にかなえているのです。「ごみを拾う」項目も、その中にありました。正に大谷翔平は努力の人です。これからの活躍にも大注目ですね。

読書の秋:ホッとするとときを

私の愛読書は「佐藤愛子先生」の「エッセイ集」です。歯に衣着せぬ物言いが大好きで、全て購入して読んでいます。読むと心がスッキリ。それから矢部太郎さんの漫画「大家さんと僕」です。こちらはほっこりした気分。秋の夜長に心の栄養を・・・

